

枚方公済病院 腎臓内科のご紹介

診療内容

- ① 蛋白尿など検尿異常：腎炎などを疑う場合、腎生検などの診断と可能な治療の施行
- ② 慢性腎不全の管理：内服加療、食事指導などで腎不全の進行を遅らせる
- ③ 腎代替療法：適切な腎代替療法へ移行とその後の管理
- ④ 合併症の管理：高血圧や腎性貧血など慢性腎不全に伴う合併症の管理

具体的には.....

- ① 外来で検査し、腎生検適応の症例には、関西電力病院、京都医療センター、大阪日赤病院など京大関連の腎臓内科で腎生検を施行いただき、その病理の結果を元に当院で加療
- ② 従来の腎保護剤のRAS-阻害剤に加えて、SGLT2阻害剤やMRA（ケレンディア）なども併用し、同時に食事指導など重要だが地味で忘れがちなことを外来で繰り返し実施します。当然、血圧手帳も！
- ③ 公的パンフレットを使用し、腎代替療法の方法を選択いただき対応します。当院では血液透析まで対応しています。腹膜透析は当方で説明まで行い、希望される患者には腹膜透析を施行している医療機関に紹介させていただきます。腎移植に関しても説明まで行い、希望される患者様には移植に対応している医療機関に紹介させていただきます。
- ④ 当方は高血圧専門医の資格もあり、血圧管理なども中心に合併症の管理をしていきます。糖尿病などもある場合は、糖尿病科にも併診としてご助力いただいています。

透析

現在、透析室は6床で稼働 新病棟では10床に増床予定

長所・短所

長所

腫瘍内科もあり、担癌の透析患者で抗がん剤治療なども行ってきました。また、まれなケースですが、癌に伴う重度のネフローゼなどの場合、通常の治療は効きません。その場合 Chemical Nephrectomy を行い、透析導入の上で自宅に戻り通院透析で日常を過ごせるようにしたケースもあります。

短所

急性期病院であり、長期入院は出来ず転院加療をお願いすることもあります。

メッセージ

腎臓内科は

- ① 実際をイメージしにくい分かりにくい科
- ② どの病院でもそうですが実際の設備・人員の限界もあり
- ③ その性質上、医療というより患者の性格・考え方も重要となって来る

という二重三重に難しい分野でもあります。

正直に「困っている点」を言って、御紹介いただけたらありがたいです。



腎臓内科科長
今牧 博貴
(いままき ひろたか)

地域医療連携室 (072)808-0010

(月火金 8:30-20:00、
水木 8:30-17:15、土 9:00-13:00)

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233